

■第11号■ 2008年10月8日発行

<http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メールマガジン第11号をお届けします。本号では科研費に関するセンターからのお知らせや、9月に東京国際フォーラムで開催されたイノベーションジャパン2008出展報告などを中心にお届けします。

▲目次▼

1. センターからのお知らせ（文科省科学研究費について）
2. 知財教育のお知らせ
3. イノベーションジャパン2008出展報告

◆本メールマガジンは学内教職員ならびに希望者の方に配信しております◆

1. センターからのお知らせ

△▼文科省科学研究費について

★平成21年度文科省科学研究費補助金応募について★

平成21年度文部科学省科研費の公募につきまして、第一次締め切りが10月15日（水）となっております。締め切り厳守で申請書類の提出をお願い致します。

★科研費レクチャーについて★

9月29日、10月7日の2回に渡り実施した、「若手研究者向け科研費申請書作成レクチャー」には、のべ90名の先生方に出席頂きました。レクチャーでは、篠村恭久教授、齋藤利和教授から申請書作成について注意すべき点などをお話しして頂きました。レクチャーで使用されたパワーポイント資料は下記URL（学内限定）

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kaken/lecture_top.html

にて閲覧できますので、ご活用ください。

2. 知財教育について

★知財教育 e-Learning 開始について★

本年9月3日より知的財産教育の e-Learning 配信を開始しました。学内外の講師によるこれまでの主な講義の内容が動画とパワーポイントで視聴できるようになっております。既に本学大学院生、教職員の皆様にはID、パスワードを発行しております。詳しくは知財教育のサイト、<http://web.sapmed.ac.jp/chizai/chizaijp/jukou.html> をご覧ください。

★知財講義の実施について★

日時：10月24日（金）18:00～19:00

場所：基礎医学研究棟5階会議室

講師：日本製薬工業協会 知的財産部長・弁理士 長井 省三 氏

内容：医薬品と特許―産業界から大学への期待―

本講義は本学の大学院医学研究科「医学研究セミナー」の単位として認定されます。単位認定については、学務課学務第2グループ主査（大学院）（内 2177）までお問い合わせください。

外部の方で受講を希望される場合は、以下のフォーム（PDF ファイル）をダウンロードして、お申し込みください。

<http://web.sapmed.ac.jp/chizai/chizaijp/pdf/chizaijp20081024.pdf>

詳しい内容や、今後の講義の日程については下記URLをご参照ください。

<http://web.sapmed.ac.jp/chizai/chizaijp/education03.html>

その他、知財講義についてお問い合わせは chizai@sapmed.ac.jp までお願い致します。

3. イノベーションジャパン2008出展報告

今年も9月16日から18日の日程で東京国際フォーラムで開催された「イノベーションジャパン2008―大学見本市」に、本学から出展をしました。本年は、分子機能解析部門小海教授の「タンパク質脂質相互作用の新しい解析システムとしての新規ナノリボソーム」、皮膚科小野准教授の「老化皮膚の若返り治療剤」、がん研分子病理病態学部門三高教授の「創薬研究に有用な小型肝細胞の取り扱い技術」と、産学・地域連携センターのブースの4ブースを出展し、研究シーズの紹介や医大の紹介を行い、また、他大学、企業と打ち合わ

せを行いました。会場には3日間でのべ45000人の来場者がありました。

小海教授、相馬准教授、小野准教授、三高教授には会場にて来場者からの相談に対応して頂きました。特に、小野先生には全日程に渡りご参加頂き、精力的に相談対応に当たって頂きました。ありがとうございました。センターからもスタッフを会場に派遣し、先生方のフォローや、センターのブースにおいて研究シーズ集やパンフレット等の配布を行い、医大の知財・産学連携活動の紹介を行いました。

年を追うごとに出席希望が増加し、申込者全員が出席できるわけではありませんが、来年以降も積極的に出席を行いたいと考えております。ご協力よろしくお願い致します。

☆編集後記

センターメールマガジン11号をお届けします。科研費申請時期に入り、センターも繁忙期に入りました。書類提出の期限厳守等、ご協力をよろしくお願い致します。

産学・地域連携センターでNEDOフェローとして知財管理に活躍頂いた小野寺研究員が10月末を持って退職し、浜松医大の知財活用推進本部に赴任することになりました。浜松でも知財・産学連携の仕事をされるということで、今後ともお世話になることもあるかと思えます。引き続きよろしくお願い致します。(IN)

附属産学・地域連携センターメールマガジン

編集 一瀬信敏

発行 札幌医科大学附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp

ichise@sapmed.ac.jp (一瀬)
